

# 平成21年度 高知大学公開講座

## 「自然と文化」ご案内

主 催 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

共 催 大豊町教育委員会

○日 時	第1回	6月19日(金)	午後7:00~8:45
	第2回	6月26日(金)	午後7:00~8:30
	第3回	7月3日(金)	午後7:00~8:30
	第4回	7月10日(金)	午後7:00~8:30
	第5回	7月17日(金)	午後7:00~8:45
○場 所	大豊町総合ふれあいセンター 3階多目的ホール		

### ○講座タイトルと講師

第1回 健康・美人になるエクササイズ(べっぴんさん体操)

医学部 医療学(予防医学・地域医療学分野) 准教授 つづく 都竹 しげき 茂樹

第2回 花粉症

医学部 眼科学 教授 ふくしま 福島 あつき 敦樹

第3回 日本語と高知県方言

教育学部 国語教育 国語学 教授 くの 久野 まこと 真

第4回 高齢化社会と生涯学習

教育学部 学校教育 社会教育 教授 うちだ 内田 じゅんいち 純一

第5回 新型インフルエンザについて

医学部 家庭医療学(土佐山へき地診療所) 講師 まつした 松下 まさひで 雅英

○募集人員 40人

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

○お申し込み 大豊町総合ふれあいセンター 生涯学習班(TEL0887-73-0811)へ、  
5月29日(金)までにお申し込みください。

○受講料 1,200円

○少しでも、高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門の商業

高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門では、いろいろな学習の場を提供しています。なんでも、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先：高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

TEL：088-844-8555 FAX：088-844-8556

E-mail：[sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp](mailto:sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp) (坂本)

\* ホームページも見てね URLは → <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/index.html>

# 講座題目・講師一覧

月 日	時間	講座の内容と講師
	19:00 ～ 19:15	<b>開 講 式</b>
6月19日(金)	19:15 ～ 20:45	<p><b>健康・美人になるエクササイズ(べっぴんさん体操)</b> <span style="float: right;"><b>都竹 茂樹</b></span></p> <p>もっともっとキレイになりたい！！おなかを引っ込めてカッコよくなりたい！！</p> <p>そんな皆様にお送りする講座です。当日は、NHK「ためして ガッテン」や「おしゃれ工房」でも放送されたエクササイズと食事の極意を丁寧にご紹介します。もちろん最近メタボ気味で何とかしたい、あるいは将来寝たきりになりたくない、という方も大歓迎です。皆さんの参加を心からお待ちしています。</p> <p>当日持参していただくもの:「わくわく」した気持ちだけをもってお越しください。なおカラダを動かしますので、ズボンでお越しください。</p>
6月26日(金)	19:00 ～ 20:30	<p><b>花粉症</b> <span style="float: right;"><b>福島 敦樹</b></span></p> <p>花粉症では目のかゆみや鼻水、鼻づまりなどの症状を認めます。花粉症の患者数は年々増加しており、現在、全国で約2000万人もの患者さんがいると推定されています。原因となる花粉としては、春先に飛ぶスギ花粉が最も多く、全体の約80%を占めているといわれています。花粉症はアレルギー疾患なので、早期に完全に治すことは難しく、日常生活にさまざまな支障をきたします。しかし、花粉を回避しながら薬剤を上手に用いて治療を行うことにより、花粉症をコントロールすることができます。</p> <p>本講演では、花粉症による目の症状に焦点を当て、花粉によるアレルギー性結膜炎の原因や治療、予防について解説します。</p>
7月3日(金)	19:00 ～ 20:30	<p><b>日本語と高知県方言</b> <span style="float: right;"><b>久野 真</b></span></p> <p>「所変われば品変わる」という表現があります。また「訛りは国の手形」とも言います。どちらも方言のことを表しています。日本には各地にそれぞれの方言があって表現を豊かにしています。</p> <p>しかし、どこの方言はどんな特徴があるか考えてみると説明するのは簡単ではありません。今回は日本のどこにどんな方言があるか、どんな特徴があるかについてお話ししようと思います。</p> <p>また、高知県の方言はほかの方言とどこが違って、どこが違わないのか、高知県方言に古語が残っているという噂は本当なのか考えてみましょう。</p>
7月10日(金)	19:00 ～ 20:30	<p><b>高齢化社会と生涯学習</b> <span style="float: right;"><b>内田 純一</b></span></p> <p>人は誰でも、いくつになろうと、他者の役に立つことができる存在です。我が身の必要のみならず、他者の必要に応え、それを満たすものを創り出す能力を持っています。他者の役に立つ力は、学習という人間に備わっているもう一つの能力によって不断に高められています。自分も含め人々が必要としているものを感じ取り、理解する力は、学習によって確かなものとなります。学習することは、個人がますます多くの他者の必要に応えられるようになることであり、多くの人々と共感しつつ生きることのできる自己を形成することでもあります。</p> <p>本講義では、おとな自身の人間発達の危機、社会が本来的に内在させている教育創造機能自体の衰退とその克服といった視点から、現代の教育問題について考えてみたいと思います。</p>
7月17日(金)	19:00 ～ 20:30	<p><b>新型インフルエンザについて</b> <span style="float: right;"><b>松下 雅英</b></span></p> <p>インフルエンザは毎年冬季に流行するごく身近な疾患で、一旦流行が始まると短期間に多くの方が感染してしまいます。その原因となるインフルエンザウイルスが10～50年周期でフルモデルチェンジ(不連続抗原変異)を起こして、人から人に容易に感染できるようになり(新型インフルエンザ)、インフルエンザの世界的大流行(パンデミック)を起こすことが過去の歴史から明らかになっています。現在、流行しているA香港型、Aソ連型インフルエンザはそれぞれ約40年前、90年前に出現した新型インフルエンザの子孫に相当します。</p> <p>今回、新型インフルエンザがどのようなものであるのかを中心にお話させていただきたいと思います。</p>
	20:30 ～ 20:45	<b>閉 講 式</b> (修了証書授与)